

2024 秋の研究集会（オンライン）12 月 8 日

「新たな戦前」の進行を許さないために——歴史の教訓と 現代認識の課題——若者とともに世界と戦争を考える教育を

今、世界が、そして日本も、進行しつつある戦争の危機、武力衝突の拡大、ウクライナやガザや中東地域での悲惨で許しがたい大量虐殺の拡大を阻止することが出来ず、「国家の戦争」を禁止した国連憲章や、国際的な平和維持の機能も、この事態にストップをかける力を奪われつつあるように思われます。日本も、憲法第 9 条の解釈改憲による集団自衛権の論理で、米中の軍事衝突に備える「敵基地攻撃」の最先端基地へと強化・再編され、国民の批判も周到に封じられつつあります。待たなしの気候危機への世界的な共同もそのなかで後退させられ、ますます格差や飢餓や難民が拡大し、その結果、偏狭なナショナリズムの台頭、民族間紛争の拡大が展開しています。今、それらを、私たちが直面させられつつある「新たな戦前」の様相ではないかと捉える歴史的「想像力」が求められているのではないのでしょうか。

いったい、この事態に対して、私たちは、そして教育は、どうすれば良いのか。現に激しく展開している戦争を話し合うこと、その原因、現状、停戦への糸口、「政府の行為」による「ふたたび戦争の惨禍」（日本国憲法前文）が起こされようとしていることをどう見抜き、それをどう止めればいいのか。大人の運動と同時に子どもたちにどう世界を把握させ、見通しを持たせ、意見を表明させればよいのか（子どもの権利条約第 12 条）。今、このことを話し合い、子どもと一緒に考えることが、避けてはならない教育の責務となっているのではないのでしょうか。状況を読み解く基調の報告、講演、その課題に向き合おうとする実践・現場からの報告を受けて、考え討論します。

1. 日 時:12月8日(日)14時~16時30分 ZOOMによるオンライン・シンポジウムです。

2. 日程と内容(予定)

1)受 付(入室)13時45分から入室が可能です。(それ以前は打合せがあり、ご遠慮ください)

2)開会と挨拶 14時

3)問題提起 佐貫 浩さん(平和・国際教育研究会会長 法政大学名誉教授)

「新たな戦前」の進行の中で教育の課題を考える」

講 演 山田 朗さん(明治大学教授 歴史教育者協議会委員長)

演 題「新たな戦前」の進行を許さないために——歴史の教訓と現代認識の課題」

実践報告 福永徳善さん(神奈川県私立中学高校)

「中学生が考える「軍事力で平和は守れるのか」」 4)フリートーク 5)閉 会 16時半

3. 参加について: ZOOM による集会ですが、平和・国際教育研究会、歴史教育者協議会、全民研、新英研、(全国の)高校生平和ゼミナール世話人会のみなさんは次の URL からご参加ください。各会員以外の方にご紹介して下さる時は下の管(かん) fwic7129@nifty.com までご相談ください。

◆トピック: 12.8 研究集会 時刻: 2024 年 12 月 8 日 13: 45 から入室が可能

◆参加 Zoom ミーティング

<https://zoom.us/j/99423473857?pwd=WTW5KIgyP8gt9a4wkldgsK0aIjZs0e.1>

ミーティング ID: 994 2347 3857 パスコード: 703506

◆当日、各会員のみなさんは名前の欄に「氏名 所属団体(都道府県[外国からの方は国名か都市名])」(例「黒田貴子 歴教協(東京)」「沖村民雄 平和国際(東京)」)を書いて参加してください。*参加費は無料です。

4. 主 催 平和・国際教育研究会 歴史教育者協議会

5. 問い合わせ先 平和・国際教育研究会 管 幹雄 090-7663-2006 fwic7129@nifty.com

歴史教育者協議会 黒田貴子 090-4381-4463 takako-ashibi@amail.plala.or.jp

◇Homepage もご覧ください。 <http://www.chichibu.ne.jp/~sekine-kz56/heikokuken/>